

Beyond the Dream

= Yume no kanata =

令和7年8月2日(土)

NO.88

8月2日(土)11:30~13:00

部活動も運動部では世代交代が行われ、いわゆる新チームでの大会がはじまりました。私のイメージですが、他にもあるのかもしれませんが、夏休みに入ってすぐある大会となると、卓球部の「カデット」とソフトテニス部の「優勝大会2年」が毎年7月末か8月はじめに行われるというイメージがあります。ただテニスに関しては暑さが厳しいため、開催時期が大きく変わったと聞きました。今日は卓球部のカデット(cadet)が西代中学校(男子のみ)で開催されました。カデットとはいろいろな意味があるようですが、ここでは「年齢区分」の意味で用いられ中学生以下の選手による大会で、12歳~14歳までを対象にした大会になります。そのため、トーナメントも学年別に組まれて、学年ごとで優勝を目指します。(これ以外にも卓球はバンビ(小1.2)カブ(小3.4)ホープス(小5.6)、ジュニア(高1.2)と年齢で区切った大会が行われているようです。)登録は無制限ですので、全員出場することが可能です。また、ダブルスのトーナメントも行われています。この大会は区大会からはじまり、最終は全日本大会まで続いていきます。そこで結果を残すと世界大会までありますので、実は大きな大会です。今日は区大会が開催されました。上位の複数名が来週行われる市カデットに出場することになります。私が到着したのが、ほとんどの試合が終わっていたので、2年生の試合をいくつか見ることはできなかったのですが、到着すると外に出ていた真新しいユニフォームに身をつつんだ1年生の選手たちが挨拶をしてくれて、「3回戦まで勝てた」とか、2年生からは「まだ勝ち残っている。」と教えてくれました。どんな試合でも成果がでるとうれしいと思います。生徒たちの顔がうれしそうだったので、今日大会ができたことは、良かったのだと思いました。

中に入ると、1年生はすでに終わっていて、2年生が試合をしていました。ベスト8や4の試合になってくると互いに譲らない緊迫した試合展開になります。一方的な展開にはならず、取られては取り返し、取っては取り返されてといった試合で拮抗していました。新チームになって試合の仕方からスタートしていくことが多い中で、すでに、自分の試合の形が作れるようになっていることに、感心しました。今後は楽しみだと思いました。卓球は負け審判ですが、上位の試合になると相互審判で両チームから1名ずつ審判を出します。ベスト4の試合で、部員全員で出場選手を応援しました。出場選手が決めたとき、審判をしている部員が、声援を送るところと合図を出していました。審判の立場ということには十分に理解した上で、1年生に応援のし方を教えているのがわかりました。卓球は個人競技の部分もありますが、チームとして個人戦で迫られるととても相手にプレッシャーがかかります。その1つがチームがーれとなって行われる応援です。2年生が先輩としての自覚をもって後輩に接していることがとても良かったです。

市大会へは、1年生が4人、2年生が3人、ダブルスが1ペア、出場できるとのこと。市大会でのさらなる活躍を期待します。

